

平成 28 年度の点検・評価（H27 年度実施分）について

1 根拠

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条

- 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、これを議会に提出するとともに、公表する。
- 点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る。

2 点検・評価の対象

- (1) 教育委員会の活動状況
- (2) 教育委員会の事務事業の実施状況

※「山口県教育振興基本計画」の施策体系に基づき、点検・評価を実施

3 点検・評価 1：教育委員会の活動状況

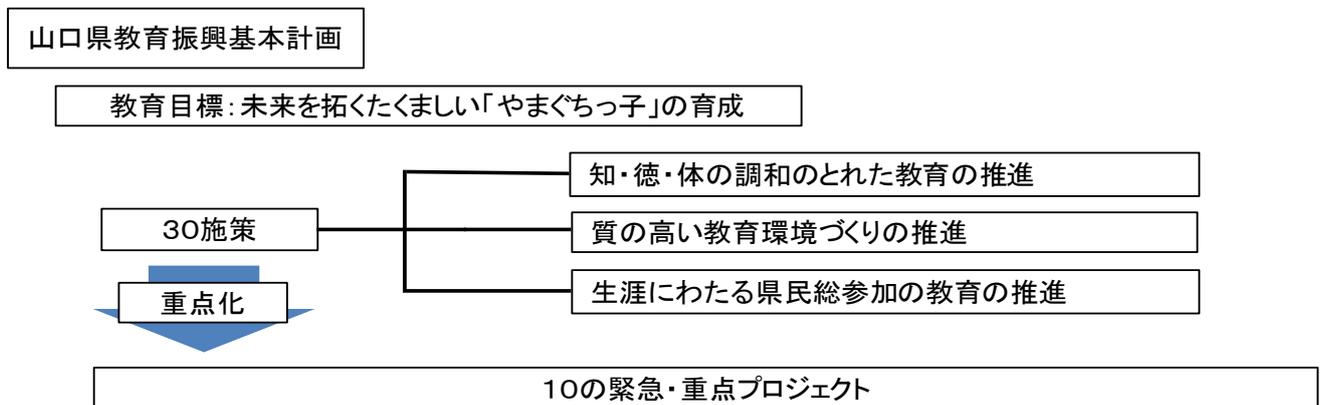
活 動	主な内容	件数等
会議等	<ul style="list-style-type: none"> ○議案審議：教育行政の基本方針、教職員人事 議会提出議案に係る知事への意見 申出、規則の制定 等 ○協議・報告：主要事業等の実施方針・取組状況 の協議・報告 等 ○意見交換：教育課題に関する意見交換 	12回 うち移動教育委員会議1回 66件 47件 7テーマ
山口県総合 教育会議	<ul style="list-style-type: none"> ○主な議事：「山口県の教育、学術及び文化の振興 に関する総合的な施策の大綱」 「平成 28 年度における重点取組方針」 	3回 —
県内視察	<ul style="list-style-type: none"> ○学校を訪問 授業参観、施設視察、教員等との意見交換等を実施 	6箇所
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○公安委員との意見交換 ○会議等への出席、他県委員等との意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・全国都道府県教育委員会連合会総会 ・中国五県教育委員会委員全員協議会 ・県・市町教育委員長・教育長会議 	—
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 26 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育行政における責任体制の明確化等を目的とする教育委員会制度改革が行われたことに伴い、本県教委では、平成 27 年 4 月 1 日より新教育長が就任した。 ○新しい教育委員会制度のもと、本県教育の課題やあるべき姿を知事と教育委員会が共有し、より一層一体的な教育行政を推進するため「山口県総合教育会議」が設置され、同年 10 月に「山口県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」が策定された。 	

- ホームページ等を利用した教育委員会活動の周知、地域の方の声や教育現場の実態を把握するための移動教育委員会の開催、学校現場の実情把握のための学校視察や世界スカウトジャンボリーでの地域プログラムの視察を行った。
- このような活動を通じて教育課題への認識を深めつつ、教育委員会会議において活発な議論・意見交換を行い、県教育行政の方針を決定するなど、教育委員会としての役割を遂行した。
- 今後とも、本県教育行政の一層の推進に向けて、国の動向、教育現場や地域の実情等を踏まえながら、教育委員会活動のさらなる活性化に努めていく。

4 点検・評価 2 : 事務事業の実施状況

(1) 施策体系

基本計画に掲げる30の施策、10の緊急・重点プロジェクトのそれぞれについて評価を行う。



(2) 評価の方法

■ 施策の評価

各施策の主な取組（■マーク）ごとに、実績や関連指標の到達状況を踏まえ、進捗状況を5段階（☆～☆☆☆☆☆）で示し、星の数を平均したものを施策の進捗状況として3段階で評価する。

◆ 緊急・重点プロジェクトの評価

各重点・緊急プロジェクトの具体的な取組内容（◆マーク）ごとに、実績や関連指標の到達状況を踏まえ、進捗状況を5段階（☆～☆☆☆☆☆）で示し、星の数を平均したものをプロジェクトの進捗状況として3段階で評価する。

《評価のイメージ》

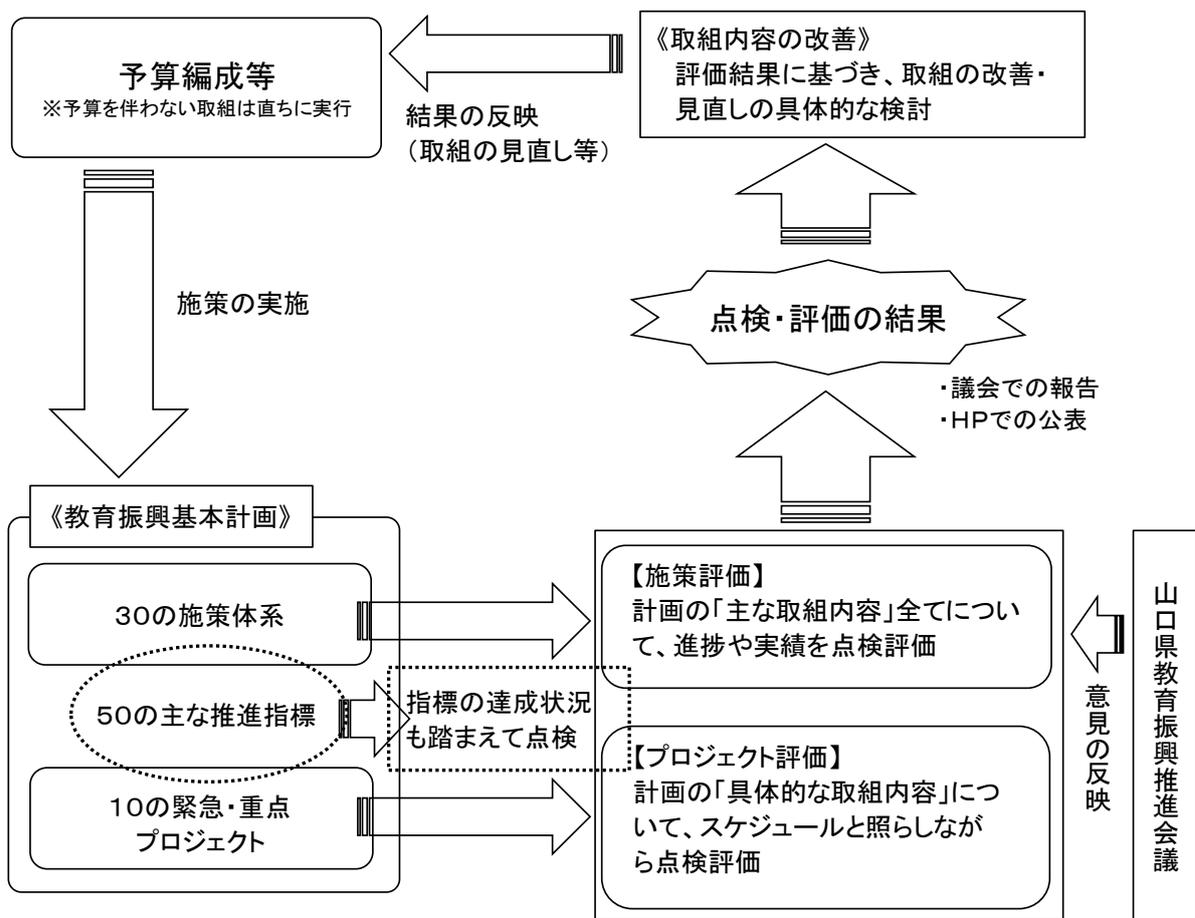
- [☆☆☆☆☆] 計画を上回り進捗
- [☆☆☆☆] ほぼ計画どおりで順調
- [☆☆☆] 一部に課題はあるが概ね順調
- [☆☆] 全体的に遅れている
- [☆] 大幅に遅れがある



(3) 点検・評価の結果の反映

点検・評価の結果、取組状況に課題があるものや、関連指標の目標に未到達となっているものについては、取組内容の見直し、改善を行うなど、次年度以降の取組に反映する。

[点検・評価結果の次年度以降の取組への反映のイメージ]



◆緊急・重点プロジェクトの評価

No	プロジェクト名	H27評価 ※H26 評価と同様	28年度 以降の主な取組
1	地域ぐるみの 教育推進 プロジェクト	順 調	<ul style="list-style-type: none"> ・CSと地域協育ネットの一体的な推進 や取組内容の一層の充実 ・世界文化遺産の効果的な活用
2	確かな学力育成 プロジェクト	一部に 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・35人以下学級の維持継続 ・「学力向上推進フォーラム」の継続開 催（県西部・東部）
3	豊かな心育成 プロジェクト	一部に 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットトラブル等防止出前授業等によるイン ターネットによるいじめ等未然防止 ・SSWによる支援体制構築等による関 係機関との連携を強化し、社会総がかり でのいじめ防止・根絶の取組の促進
4	子ども元気創造 プロジェクト	一部に 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へのトレーナーや栄養士などの専 門家派遣等による子どもの運動支援 ・各学校における運動習慣改善に向けた 取組の検証・改善
5	グローバル人材育成 プロジェクト	順 調	<ul style="list-style-type: none"> ・世界スカウトジャンボリーでの語学ボ ランティアの活用 ・イングリッシュキャンプ等児童生徒の英語の使 用機会の拡充
6	ものづくり人材育成 プロジェクト	一部に 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・高度な資格取得の促進や全国大会等へ 向けた取組の支援 ・ガイダンスや求人開拓、マッチングな ど早期の内定に向けた取組を推進
7	魅力ある学校づくり プロジェクト	順 調	<ul style="list-style-type: none"> ・県立高校の次期再編整備計画に基づ き、年次的・計画的に推進 ・総合支援学校における児童生徒数 増加への対応や職業教育の充実
8	安心・安全な 学校づくり プロジェクト	一部に 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化の早期完了に向けた市町への働 きかけの強化 ・「学校安全推進計画」の周知徹底や 「学校安全プログラム」の活用促進
9	教職員人材育成 プロジェクト	順 調	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報発信等による教員志望者 拡大に向けた取組を強化 ・教職大学院を活用した現職教職員研修 システムの構築に向けた取組
10	世界スカウト ジャンボリー開催 プロジェクト	順 調	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や関係団体と連携し、グローバル 人材の育成などの大会の成果を活か した取組を推進

(4) 評価結果の一覧

■ 施策の評価

施策の柱 (1) 知・徳・体の調和のとれた教育の推進		
1 キャリア教育の推進	順調	—
2 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育内容の充実	順調	—
3 学習指導の改善・充実	順調	—
4 国際教育の推進	順調	—
5 読書活動の充実	一部に課題	—
6 学校における人権教育の推進	順調	—
7 体力向上の推進	一部に課題	—
8 食育の推進	順調	—
9 健康教育の推進	順調	—
10 特別支援教育の推進	順調	—
11 幼児期における取組の充実	一部に課題	—
12 少人数教育の推進	順調	—
13 生徒指導・相談体制の充実	一部に課題	—
14 進路指導の充実	順調	—
15 社会教育施設等を活用した教育の充実	一部に課題	—
施策の柱 (2) 質の高い教育環境づくりの推進		
16 教育施設・設備の整備、教育環境の向上	一部に課題	—
17 学校安全の推進	順調	↑
18 教職員の資質能力の向上	順調	—
19 学校運営の活性化	順調	—
20 校種間連携・一貫教育の推進	順調	—
21 県立高校将来構想に基づく特色ある学校づくり	順調	—
22 私学の振興	一部に課題	—
23 修学支援の充実	順調	—
施策の柱 (3) 生涯にわたる県民総参加の教育の推進		
24 家庭教育支援の充実	順調	—
25 地域と学校が連携した子どもの育成	順調	—
26 生涯学習の推進	順調	—
27 地域社会における人権教育の推進	順調	—
28 文化にふれあい親しむ環境づくりの推進	順調	—
29 文化財の保護と活用	一部に課題	↓
30 「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進	一部に課題	—

全項目数				備考
	順調	一部に課題	取組に課題	
30	21	9	0	「一部に課題」⇒「順調」：1件 「順調」⇒「一部に課題」：1件

(5) 主な推進指標の進捗状況

指標名	年度	前回評価	年度	今回評価	目標値 (H29)	評価
「1/2成人式」や「立志式」を行っている公立学校の割合	26	小99.0%, 中95.3%	27	小96.6%, 中98.0%	小100.0%, 中100.0%	順調に上昇
体験的なキャリア教育の実施割合	26	小100%, 中100%, 高94.6%	27	小99.7%, 中98.7%, 高94.7%	小100%, 中100%, 高100.0%	小中では目標達成 高校でも順調に上昇
小中高の3校種で合同研修を行う「授業づくり研修会」に参加した教員数	26	290名	27	346名	500名	順調に上昇
英検2級・準2級を受験した高校生の数	26	2,744人	27	3,574人	3,000人以上	順調に上昇
英検2級・準2級に合格した高校生の数	26	961人	27	1,266人	1,000人以上	順調に上昇
職業教育技術顕彰受賞生徒（ハイレベルな資格を取得した生徒）の割合	26	21.6%	27	23.5%	25.0%	順調に上昇
全国学力・学習状況調査平均正答率の全国平均との差	26	山口県（全国） 小 国A 73.6% (72.9%) 国B 57.8% (55.5%) 算A 79.5% (78.1%) 算B 58.6% (58.2%) 中 国A 80.7% (79.4%) 国B 52.4% (51.0%) 数A 70.3% (67.4%) 数B 62.6% (59.8%)	27	山口県（全国） 小 国A 72.1% (70.0%) 国B 67.5% (65.4%) 算A 77.1% (75.2%) 算B 46.4% (45.0%) 中 国A 76.4% (75.8%) 国B 66.3% (65.8%) 数A 65.3% (64.4%) 数B 42.4% (41.6%)	小中学校の全区分で全国平均を3ポイント上回る	全ての区分において、目標の3ポイントには達していないが、全国平均を上回っている。
勉強が「好き」「どちらかといえば好き」である児童生徒の割合	26	小62.5% 中60.6%	27	小64.2% 中62.1%	増加させる	順調に上昇
ジャンボリーを活用した国際教育の取組を実施した学校の割合	26	100.0%	27	100.0%	100.0%	目標を達成
読書が好きと感じている児童生徒の割合	26	小74.4%、中71.9%	27	小76.1%、中75.4%	増加させる	順調に上昇
学校以外で月に1冊も本を読まない児童生徒の割合	26	小20.9%中30.3%	27	小21.3%中28.9%	減少させる	小学校は増加、中学校は減少
人権教育に関するサテライト研修等への講師派遣の回数	26	35回	27	42回	40回	順調に上昇
体育の授業以外に運動や外遊びをほとんど毎日（週3日以上）行っている児童生徒の割合	26	小男 69.2% 中男 71.4% 小女 55.5% 中女 55.9%	27	小男 67.0% 中男 71.4% 小女 53.7% 中女 55.9%	増加させる	運動習慣の二極化により割合がやや減少
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の県平均点	26	小5男 53.6点 小5女 54.4点 中2男 41.1点 中2女 48.8点	27	小5男 53.3点 小5女 54.6点 中2男 40.8点 中2女 48.5点	54.6点 55.4点 42.5点 49.5点	全体的にほぼ横ばい
朝食を毎日摂っている児童生徒の割合	26	小92.1%中90.5%	27	小90.8%中90.0%	増加させる	小・中ともに減少
朝食を毎日摂り、排便が毎日ある児童生徒の割合	26	小男 69.2% 中男 78.2% 小女 66.0% 中女 61.6%	27	小男 69.3% 中男 78.8% 小女 65.8% 中女 61.7%	増加させる	全体的にほぼ横ばい
総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職率	26	95.5%	27	96.2%	向上させる	順調に上昇
発達障害等のある幼児児童生徒が在籍している公立学校の個別の指導計画の作成率	26	97.7%	27	99.1%	100.0%	順調に上昇
発達障害等のある幼児児童生徒が在籍している公立学校の個別の教育支援計画の作成率	26	97.7%	27	98.7%	100.0%	順調に上昇
幼稚園・保育所等と連携した取組を実施している公立小学校の割合	26	100%	27	100%	100.0%	100%を維持
不登校児童生徒数（千人当たり）	25	小中10.1人高4.8人	26	小中10.1人高4.4人	減少させる	最新値はH28.10公表予定
「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思っている児童生徒の割合	26	小84.4%中78.7%	27	小85.2%中79.5%	増加させる	順調に上昇

指標名	年度	前回評価	年度	今回評価	目標値 (H29)	評価
いじめの解消率	25	93.0%	26	79.9%	向上させる	最新値はH28.10公表予定
1000人当たりの暴力行為の発生件数	25	4.3件	26	4.1件	減少させる	最新値はH28.10公表予定
高校生の就職決定率	26	99.2%	27	98.9%	向上させる	微減
中学校・高校卒業者のうち進路決定者の割合	26	中99.1%、高98.1%	27	中99.2%、高98.2%	増加させる	順調に推移
AFPYアドバイザーの登録者数	26	40人	27	60人	100人	順調に上昇
博物館の出前授業、館内授業の年間利用者数	26	23,809人	27	27,172人	20,000人	順調に上昇
県立学校の耐震化率	26	97.4%	27	99.8%	H27未完了	H28.5完了
市町立小・中学校の耐震化率	26	86.9%	27	94.1%	H27未完了	上昇したものの、8市で未完了
市町立幼稚園の耐震化率	26	65.1%	27	78.7%	H27未完了	避難場所の小中を優先し目標を下回っているものの、増加で推移
携帯メールによる情報配信システムを整備している公立学校の割合	26	90.6%	27	93.5%	100.0%	順調に上昇
児童生徒の登下校における交通事故件数	26	小15、中32、高52	27	小11、中13、高42	減少させる	順調に減少
やまぐち総合教育支援センター研修の受講者数	26	14,163人	27	16,318人	15,000人	順調に上昇
コミュニティ・スクール(学校運営協議会設置校)指定校の割合	26	80.1%	27	90.2%	100.0%	H28.4に100%達成
保護者や地域住民等を評価者とした学校関係者評価を実施している公立学校の割合	26	99.8%	27	100.0%	100.0%	目標どおり進捗
異校種間の授業参観や情報交換会を実施した公立学校の割合	26	100.0%	27	99.5%	100.0%	ほぼ目標を達成
各高校で開催される体験入学や学校説明会に参加した中学生の延べ人数	26	17,073人	27	17,734人	20,000人	目標達成に向け、一層の周知が必要
子育て支援を行っている私立幼稚園の割合	26	96.7%	27	98.4%	100.0%	順調に上昇
私立学校(幼・中高)の耐震化率	26	79.6%	27	89.0%	100.0%	上昇
家庭の元気応援出前講座の受講者数(累計)	26	6,679人	27	7,907人	8,300人	順調に上昇
地域協育ネットコーディネーター養成講座受講者数(累計)	26	566人	27	752人	875人	順調に上昇
かがやきネットやまぐちの閲覧数	26	194,267件	27	166,840件	165,000件	目標を上回っている
地域社会における人権教育指導者養成に係る県教委主催の研修会の受講者数	26	258人	27	280人	300人	順調に上昇
国及び県の主催事業である学校芸術文化ふれあい事業を活用して文化芸術の鑑賞を行った児童生徒の割合	26	42.9%	27	43.8%	現状値の維持向上	順調に進捗
文化財出前講座、文化財愛護教室、発掘現場公開説明会への受講又は参加人数(累計)	26	6,943人	27	1,256人	8,000人	大きく減少。講座等の広報活動に努める
県文化財ウェブサイト閲覧件数(HPアクセス数/年)	26	165,618件	27	118,959件	278,000件	目標を下回って推移
県民のスポーツ実施率	26	52.5%	27	41.6%	(H34)全国トップレベル	大きく減少。広報活動の強化が必要
国民体育大会総合成績	26	22位	27	28位	10位台の維持・定着	目標を下回っているが、達成に向けて競技力強化
「我がまちスポーツ」への参加者数	26	7.6万人	27	7.6万人	(H34)10万人	ほぼ横ばい